

令和元年度双葉会本部事業報告・決算報告(抜粋)

総括

1. 総括

今年度は、各事業所とも台風19号の影響による長期間の断水、新型コロナウイルス感染症対策と例年にない対応を迫られた一年となりました。

琴清苑新築工事事業の入札、契約、工事着工については計画どおりに推移しており「全従来型個室96名定員、中規模防災拠点型地域交流スペースを備えた施設」の運営展開について具体的な計画を策定する段階に入ってきましたが、今後新型コロナウイルス感染症対策の影響による工事の遅れが懸念される所です。

老人施設においては、入所稼働率は寿楽荘で96.0%、琴清苑で94.0%、短期入所事業では寿楽荘101.0%、琴清苑68.2%という結果であり、前述した感染症対策の影響により大幅に落ち込んでいることと、入所に対して慎重にならざるを得ない事態となっています。他にも入所待機者の著しい減少、要介護度の制約、職員の就労環境問題、身体拘束ゼロによる生活の質の向上等課題となっています。

また、看護・介護職の人材難が深刻であり、知恵をしばり雇用対策の強化を図っている所です。インドネシア人技能実習生8名の受入れも、将来的な雇用対策の一環です。

保育園については、町が力を入れている子育て支援施策の一つである保育料無料化の効果により園児数は増加傾向にあるものの、年度後半には感染症対策の対応に苦慮した一年となりました。

診療所については、施設利用者の重度化・町内の高齢化等により医師の業務が激増している中、年度後半には新型コロナウイルス感染症が世界各地で激増し、感染拡大防止対策の周知徹底に努めました。今後、医師の健康状況も考慮し、非常勤医師の増員等も視野に入れ体制強化を図って行きます。

※ 詳細は事業報告書をご一読ください。

財産目録		令和2年3月31日
資産・負債の内訳		双葉会本部
I 資産の部		***
1. 流動資産		***
流動資産合計		38,866,493
2. 固定資産		***
固定資産合計		91,126,021
資産合計		129,992,514
II 負債の部		***
1. 流動負債		***
流動負債合計		13,000,000
2. 固定負債		***
固定負債合計		0
負債合計		13,000,000
差引純資産		116,992,514

拠点区分貸借対照表		
令和2年3月31日		
	双葉会本部会計	
	借方	貸方
流動資産	38,866,493	
固定資産	91,126,021	
資産の部合計	129,992,514	
流動負債		13,000,000
固定負債		0
負債の部合計		13,000,000
基本金		0
国庫補助金等特別積立金		0
その他の積立金等		0
次期繰越活動収支差額		116,992,514
純財産の部		116,992,514
負債・純財産の部合計		129,992,514

拠点区分資金収支計算書			
(自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日			
勘定科目		双葉会本部会計	
決算の状況	事業活動	事業活動収入計①	1,014,300
		事業活動支出計②	5,307,130
		事業活動資金収支差額③(①-②)	-4,292,830
	施設整備	施設整備等収入計④	0
		施設整備等支出計⑤	0
		施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)	0
	その他の活動	その他の活動による収入計⑦	14,000,000
		その他の活動による支出計⑧	13,000,000
		その他の活動資金収支差額⑨(⑦-⑧)	1,000,000
		予備費支出(⑩)	0
	当期資金収支差額合計⑪(③+⑥+⑨-⑩)		-3,292,830
前期末支払資金残高⑫		29,159,323	
当期末支払資金残高⑬(⑪+⑫)		25,866,493	

※ 会計方式は平成24年6月に「新会計基準」へ移行しています。また、監査報告書はHPでご確認ください。